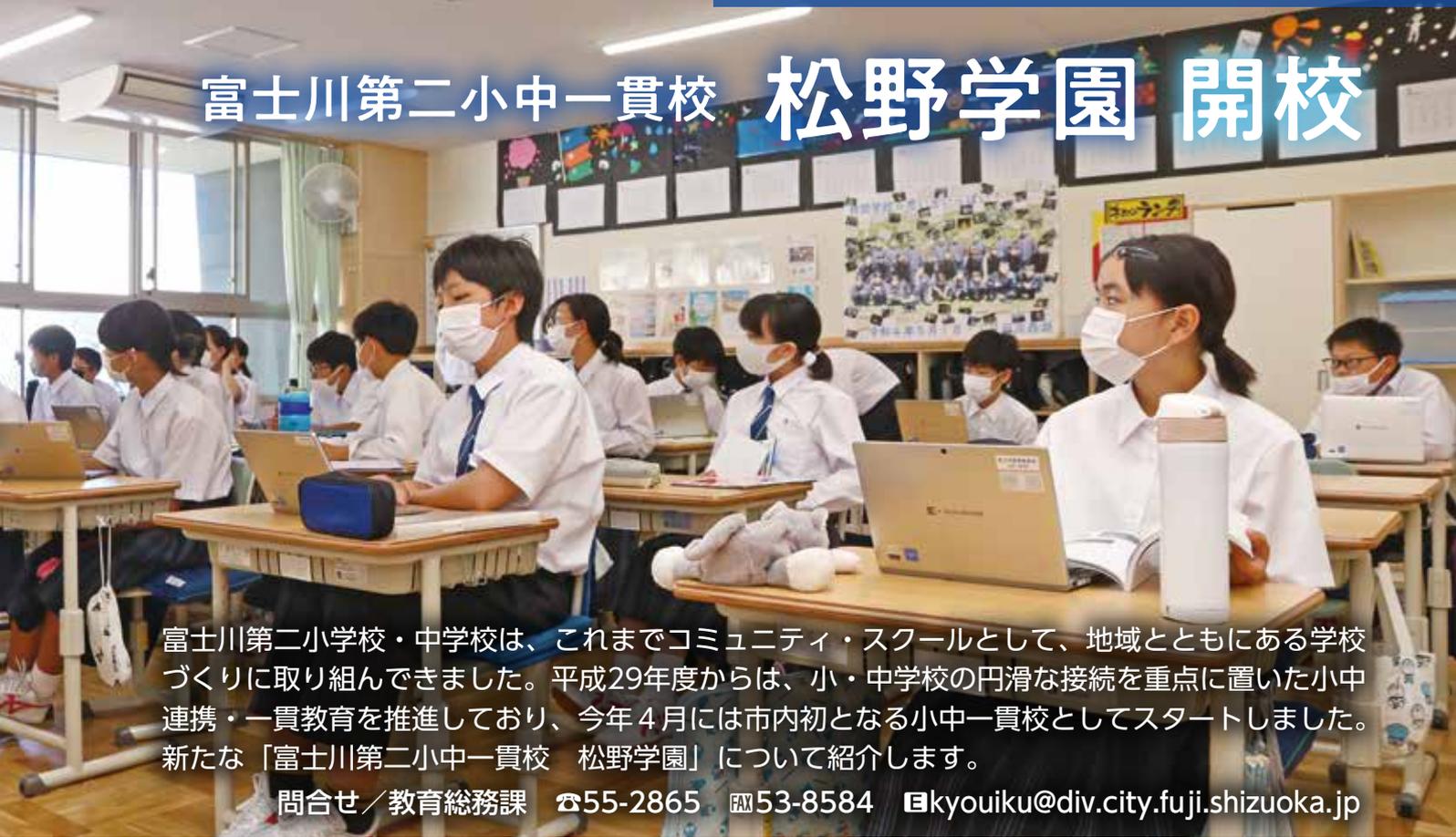


富士川第二小中一貫校 松野学園 開校



富士川第二小学校・中学校は、これまでコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりに取り組んできました。平成29年度からは、小・中学校の円滑な接続を重点に置いた小中連携・一貫教育を推進しており、今年4月には市内初となる小中一貫校としてスタートしました。新たな「富士川第二小中一貫校 松野学園」について紹介します。

問合せ／教育総務課 ☎55-2865 ☎53-8584 ✉kyouiku@div.city.fuji.shizuoka.jp

新しい教育スタイル

4・3・2制の導入

小中一貫校であることを生かし、9年間で3つの部に分け、発達段階に応じた支援を行います

松野学園が目指す子ども像

「夢を語れる子」

教科担任制

高等部（8～9年生） 道を拓く：自己表現への第一歩

自分らしい生き方について考え、自己実現に向けて歩み出す時期。基礎・基本の活用とともに、応用力を高め、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力を培う。

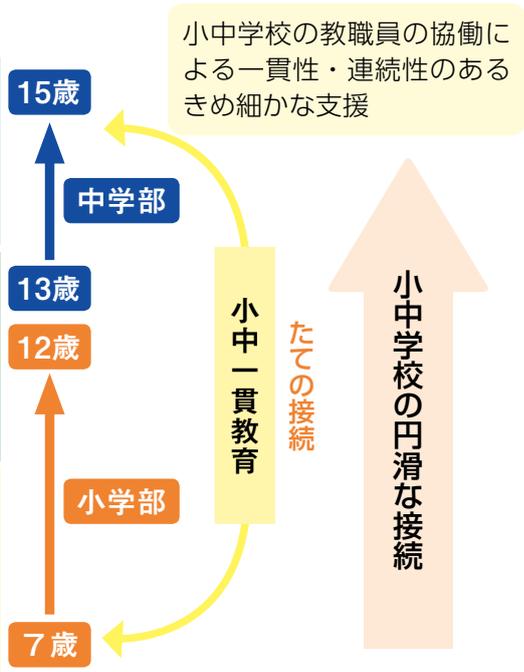
中等部（5～7年生） 志を立てる：個性の芽生え

互いのよさを認め合い、自他を大切にしながらよりよい人間関係を築く力を身につける時期。基礎・基本の定着を図りながら、学んだことを活用し豊かに表現することで、自己肯定感や自己有用感を育む。

初等部（1～4年生） 夢を描く：自主性の芽生え

学校生活に慣れながら学び方や社会性の基礎を身につける中で、自分のよさに気付くとともに仲間づくりの基礎を確立する時期。「学ぶ楽しさ」や「わかる喜び」を存分に味わうことで、学びへの興味・関心や挑戦する意欲を培い、将来の夢を育む。

学級担任制



松野こども園との連携

地域の教育力を生かした教育活動の推進

よこの連携

コミュニティ・スクール

松野こども園との連携を基にした、幼児教育と小学校とのスムーズな接続



2



1



朝の様子



3

松野学園ならではの学校行事・生活

- ①入学式。新1年生が9年生とリボンを紹介して手をつないで入場した
- ②松野学園は小中一貫校のため、小学校の卒業式と中学校の入学式が行われない。そのため、中等部（5年生）に上がるときに自分の夢や志を発表する「立志式」が行われる
- ③2階に設けられた図書スペースは、様々な学年の児童・生徒たちが自由に利用できる

小学生と中学生の
みんなでやる学校行事が
楽しみです！



児童生徒会を中心に様々な活動へ積極的に挑戦することで、両校の伝統を受け継いだこの松野学園の、新たな歴史をつくっていききたいです。

様々な学年の仲間が同じ校舎で9年間を一緒に生活するので、お互いが思いやりの心を持つことが大切だと思います。

待ちに待った新しい校舎が完成し、うれしい気持ちでいっぱいです。私たちが新しい学校を創り上げていくために、違う学年同士の間がわりや関わりを大切にしていきたいと思っています。

地域の人に愛される
学校を目指したい



児童生徒会長
清水 大翔さん



松野学園中学部
三上 聡 校長

松野学園小学部
若林 努 校長

多様な年代の地域の皆さんとふれ合い、年の離れた異学年の子どもたちと生活する中で、豊かな人間性と、柔軟な発想力を身につけていってほしいと願っています。

この学校では、生活のあらゆる場面ですてきな姿が見られます。先日は登校中に転んで泣いていた1年生を、9年生がおんぶし、もう一人がランドセルを持って登校してきてくれました。行事のときだけでなく、日常生活の中で、お互いの思いやりの心や慈しみの心が育まれています。

子どもの発達特性という観点から考えると、現状の義務教育の6・3制は子どもの認知発達段階と多少のずれがあるように思います。そのため松野学園では、9年間を4・3・2の3段階に区分けし、より丁寧に、発達段階に応じた学習指導や生徒指導、学校行事などに取り組んでいきます。

新しい教育スタイル